

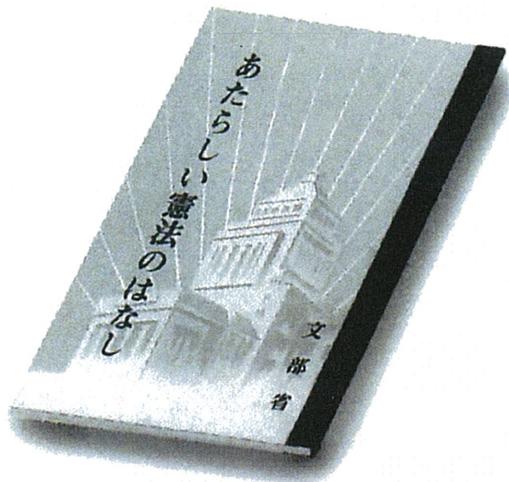
Women's history in Hokkaido

# 女性史研究 ほっかいどう

第2号 2005年8月

## ■特集・戦後60年を考える—

- ・1945・8・15 14歳の私
- ・〈戦時体制〉下の修学旅行
- ・長兄のこと
- ・新野幌—ある戦後緊急開拓史



## ■“国際婦人年”から30年

- ・戦後北海道女性政策の概括
- ・高校生が受けとめた〈25歳論〉



札幌女性史研究会

◆会誌 第二号 (二〇〇五年) 目次

★特集・戦後60年を考えるー1945・8・15 14歳の私ー私の受けた戦中・戦後の教育からー中村一枝／戦時体制下の修学旅行ー昭和14年 滝川高女ー高畑イク／解説ー西田秀子／長兄のことー戦後六〇年にー本田明子／ある戦後緊急開拓史ー江別市・新野幌部落のことー西田秀子／☆“国際婦人年”から30年／戦後北海道女性政策の概括ー「国際婦人年」から三〇年に立ってー林 恒子／女性と自立ー高校生がうけとめた<25歳論>1978、92ー橋本順子／「二〇世紀から二一世紀へ『遥かなる彼方』物語」 鷲沢セツ／一九二〇年代の農民運動を闘った女性像～重井しげ子を中心としてー岸伸子／ミス・ブライアントの平取におけるアイヌ民族への伝道(2)ー1911年～1923年ーCMS史料を通してー中村一枝／ハイデルバーグ大学日本校教育修士号過程 日本人成人女性の学びの機会ー遠藤昌子／心は常に今にあるー祖母・斉藤ハクの歴史(2)ー 斉藤道子